

東京家政大に生育している野草と樹木 —野鳥・蝶のハビタットとしての価値を中心として—

越尾淑子*、亀井幸裕*.*2

Toshiko KOSHIO, Yukihiro KAMEI

1. はじめに

越尾等は1984年から東京家政大学構内の植物調査を継続して行い、報告を行ってきた。^{1~4}また、東京家政大学附属中・高等学校においては、家政ビオトープを2001年から造りはじめ、湯山らが中心となりその生物相の変化・活動記録などを報告している^{5~9}。

この家政ビオトープは校舎に囲まれた樹木地に池を掘り、人為的に維持している、いわゆる学校ビオトープであり、生徒の自然ふれあい体験などに活用されている。2005年度には全国学校ビオトープ・コンクールで奨励賞を受賞しているが³、家政ビオトープは小規模な人造ビオトープであり、とくに珍しいものではない。中高教員を中心に、中高生、大学生、中高生の保護者・兄弟、さらに、大学教員、地域の昆虫愛好家など、広範囲の方々が参加し、生き物とのふれあい活動を展開していることと、隣接する大学構内に稀少種が自生していることなどが認められての受賞であろう。

そこで、本報では野鳥や蝶を呼び込むためのハビタットとしての役割を中心に、東京家政大学構内に生育する植物の価値について論じることとする。

2. リストの作成方法

大学構内では1984年から2006年にかけて、中高ビオトープについては2001年から2006年にかけて、フロラ調査を行った。また、その間に他の者が行った調査で出現した種についてもリストに載せた。

なお、参考として、リストには北区の記録¹⁰(北区植物ガイドブック)^{11~13}に記載されている、大学の近辺にある3カ所の公園に生育している植物名も載せた。

さらに、リストには、学内で観察された野鳥⁵と都内に分布する野鳥・蝶を記載した。

なお、実際に観察した野鳥・蝶は太字で表した。

3. 結果

大学構内と中高ビオトープに生育している樹木の種名とそれらの葉などを幼虫が食餌とする、あるいは樹液や花の蜜を吸いにやってくる可能性のある蝶の種名、樹木の果実や種子を食べにくる可能性のある野鳥の種名を一括して記載したものが表1である。

表からは、大学構内に生育している樹木は、園芸種が多いものの在来種も2割程度は含まれていることがわかる。

また、園芸種も野鳥・蝶を呼びよせる可能性

* 東京家政大学生生活科学研究所

*2 北区まちづくり推進課

が高いものが多い。

学内およびその周辺に生育している野草幼虫が食餌とする、あるいは花の蜜を吸いに来的可能性のある蝶を一覧表示したのが、表 2-1 である。

実際確認したのは 26 種であった。が、今後観察の可能性のある蝶は 31 種であり、草本に集まる蝶で学内観察の可能性のある蝶は 57 種に登った。

家政大の中で観察された野鳥と、観察された場所を示したのが表が 2-2 である。

通過した鳥から繁殖した鳥迄含めると、学内で観察された野鳥は 31 種であった。これは、市街地での観察種数としては多い方である。

家政大学の板橋構内は、毎年のように新しい建築が行われ、特に 2006 年度は構内のファミリーマート奥にある部室（旧寮跡）が取り壊され、小高い丘になっていた土も全て運び出された。この辺りは構内の端にあり人通りが少なく、壊された部室の周りは、その前の大学院等も含め、土手で囲まれており豊富な自然が残っていたところである。現在では観察できないが、著者等が観察を行いはじめた 1984 年当時見られたヤブカンゾウも現在はなくなっている。同じく土手のあたりに生育していたツリガネニンジンも姿を消してしまった。ただし、ヤブカンゾウは、寮のあたりに有ったものはなくなっているが、幸いにも以前のナースリールームの庭近く（現 4 号館前の時計のあたり）のスタジイの下に数本残っているのが確認された。（2007 年 7 月にはかろうじて 2 株残っていた。）

家政大の植生は 1970 年代より減少しているが、学内で観察された植物・野鳥の種数や、植物に集まる可能性のある蝶の種数をみるかぎりでは、学内の緑環境は地域にとっては貴重な自然資源であり続けているものと考えられる。

4. 考察

これらの結果から類推すれば、家政大学構内の植生をより自然に近いもの、すなわち在来種を中心としたものに変えていければ、周辺の植生とのネットワークがより強固なものとなり、学内への野鳥や蝶のさらなる呼び込みが可能になると考えられる。つまり、良好な自然資源（ビオトープ）をもったキャンパスも実現可能だということである。

生徒の自主的活動が不足していることなど、学内の自然資源の活用が進んでいないという課題もあるが、キャンパスで多くの野鳥や蝶が観察できるようになれば、生徒たちの見る目も変わるであろう。

今後は、大学が取得した隣地を含め、大学敷地内の既存樹群・草地の質の向上に努め、より豊かな自然環境に変え・育てていくことを願いたい。設計者は、経営的な視点から、見栄えを重視した植樹や芝生の造成をしがちであるが、それでは、豊かな自然資源をもたない他学と横並びになってしまう。既存資源を活かした差別化を図ることのほうが、本学にとって経営的にも優れた判断となると、われわれは考える。

設計に関わる委員会のメンバーが長期的な視点に立ったプランを作成されることを望みたい。

謝辞

この報告をするにあたり、多大なご協力をいただいた、北区在住の日本昆虫協会副会長の岡田朝雄氏と奈緒子夫人、本学中高ビオトープの会の原田真知子氏、板橋在住の石森愛彦氏に深く感謝の意を表します。又、この調査は、中村精二教授を代表とする生活科学研究所総合研究プロジェクトの一部として行われました。同プロジェクトメンバーの方々への感謝を申し上げます。

参考文献

- 1、越尾淑子・原田真知子：身近な野草図鑑、朝日出版社、1987
- 2、越尾淑子・原田真知子：東京家政大学の野草について 東京家政大学紀要 34 (2)、1994
- 3、越尾淑子・原田真知子：東京家政大学の役に立つ野草 東京家政大学紀要 37 (2)、1997
- 4、越尾淑子他：家政大学構内の野草の現状 東京家政大学生活科学研究所報告 28、2005
- 5、浅川真理他：東京家政大学板橋キャンパスの鳥類 東京家政大学紀要 8、2003
- 6、湯山隼之助他：～家政の子たち 第1報 家政ビオトープ 誕生から現在迄～ 東京家政大学付属女子中学校・高等学校研究紀要第23号、2003
- 7、湯山隼之助他：～家政の子たち第2報～東京家政大学付属女子中学校・高等学校研究紀要第24号、2005
- 8、越尾淑子・原田真知子：中高のビオトープ(家政ビオトープ)と学園の野草の現状 2006、～家政の子たち第3報 家政ビオトープ報告と創立125周年を迎えた学園の動植物について～東京家政大学付属女子中学校・高等学校研究紀要23号、2007
- 9、石森愛彦：「家政ビオトープ」と「学園」の昆虫・小動物、～家政の子たちへ第3報 家政ビオトープ報告と創立125周年を迎えた学園の動植物について～東京家政大学付属女子中学校・高等学校研究紀要第23号、2007
- 10、北区生活環境部環境課：北区植物ガイド、東京都北区、1998
- 11、北区生活環境部環境課：北区植物ガイドブック、2007
- 12、北区環境保全課：北区植物調査報告書、1987
- 13、北区環境保全課：陸上自衛隊十条駐屯地(赤羽地区)跡地自然環境調査(1993年実施)報告書、1994

表1 家政大およびその周辺の樹木と野鳥・蝶

	和名	家政大構内		北区家政大周辺地区				家政大で観察された鳥	食餌とするため、観察の可能性のある蝶
		学内	中高ビオトープ	赤羽自然公園	中央公園	飛鳥山公園	十条駐屯地		
		01年	01～02年						
アオキ科	アオキ	*		*	*	*		ヒヨドリ	
アオギリ科	アオギリ	*		*	*	*		コムスジ	
スイカズラ科	アベリア(ツクバネウツギ)	*			*				
マメ科	ニセアカシア	*						ルリシジミ、モンキチョウ、キチョウ、トラフシジミ、コムスジ	
トウダイグサ科	アカメガシワ	*		*	*	*	ジョウビタキ、キビタキ、ムクドリ	ルリシジミ	
ユキノシタ科	アジサイ	*				*	(ジョウビタキ、アオジ)		
ヒノキ科	アスナロ	*							
スズカケノキ科	アメリカスズカケノキ				*	*			
バラ科	アンズ	*						オオミスジ、(メスアカミドリシジミ)	
イチイ科	イチイ	*							
クワ科	イチジク	*						(ルリシジミ)	
イチョウ科	イチョウ	*		*	*	*			
カバノキ科	イヌシデ	*		*		*			
モチノキ科	イヌツゲ	*						ヒヨドリ	
モクセイ科	イボタノキ	*					ツグミ、アカハラ、オナガ、ウソ	ウラゴマダラシジミ、ミドリシジミ	
カエデ科	イロハモミジ			*	*	*			
スイカズラ科	ウツギ	*						イチモンジチョウ、コツバメ、トラフシジミ	
バラ科	ウメ	*						オオミスジ、(メスアカミドリシジミ)	
エゴノキ科	エゴノキ	*		*	*	*	ヤマガラ、シメ、キジバト		
マメ科	エニシダ	*							
ニレ科	エノキ	*		*	*	*	ムクドリ、オナガ、シメ	オオムラサキ、ゴマダラチョウ、シータテハ、テングチョウ、ヒオドシチョウ、メスアカミドリシジミ、コムスジ、カタテハ	
マメ科	エンジュ	*						キチョウ、トラフシジミ、ウラギンシジミ	
クルミ科	オニグルミ			*				オナガシジミ	
ヒノキ科	カイヅカイブキ	*							
バラ科	カイドウ	*							
カエデ科	カエデ	*						シメ	

東京家政大に生育している野草と樹木

カキノキ科	カキ	*		*	*			カラス類、ツグミ類、ムクドリ、ヒヨドリ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ	
ブナ科	カシワ	*							ムラサキシジミ、ミドリシジミ、アイノミドリシジミ、クロミドリシジミ、オオミドリシジミ
バラ科	カナメモチ	*							
バラ科	カリン	*							
ツツジ科	カルミア	*							
ウコギ科	キツタ			*		*		ヒヨドリ、ツグミ、シロハラ、アカハラ	
イチイ科	キャラボク	*							
キョウチクトウ科	キョウチクトウ	*							
ゴマノハグサ科	キリ	*					*		
ミカン科	キンカン	*							アゲハチョウ、クロアゲハ、カラスアゲハ、モンキアゲハ
モクセイ科	キンモクセイ	*	*		*			(ヒヨドリ)	
クスノキ科	クスノキ	*			*	*		ムクドリ、オナガ、ヒヨドリ、キジバト、ハシブトガラス、ハシボソガラス	アオスジアゲハ、アゲハチョウ、クロアゲハ、カラスアゲハ
アカネ科	クちなシ	*							
ブナ科	クスギ	*							アイノミドリシジミ、アカシジミ、ウスイロオナガシジミ、ウラナミアカシジミ、オオミドリシジミ、クロミドリシジミ、ダイセンシジミ、ムラサキシジミ、メスアカミドリシジミ、ルリシジミ
グミ科	グミ	*							
ブナ科	クリ	*							トラフシジミ、ルリシジミ
モチノキ科	クロガネモチ	*						ムクドリ、ヒヨドリ、ツグミ類、オナガ	
マツ科	クロマツ	*	*						
クワ科	クワ	*					*		
クスノキ科	ゲッケイジュ	*							アオスジアゲハ
ニレ科	ケヤキ	*		*	*	*			コムスジ、シータテハ、アカタテハ
バラ科	コデマリ	*							コツバメ
ブナ科	コナラ	*							アイノミドリシジミ、アカシジミ、ウスイロオナガシジミ、ウラナミアカシジミ、オオミドリシジミ、クロミドリシジミ、ダイセンシジミ、ムラサキシジミ、ルリシジミ

越尾淑子 亀井幸裕

モクレン科	コブシ			*	*	*		ヒヨドリ	
ツバキ科	サカキ	*							
バラ科	ソメイヨシノ	*		*		*	*	メジロ、ムクドリ、 ツグミ類、ヒタキ類	メスアカミドリシジ ミ、オオミドリシジ ミ
ツバキ科	サザンカ	*				*			
ツツジ科	サツキ	*							
ミソハギ科	サルスベリ	*							
ヒノキ科	サワラ	*	*		*	*			
スイカズラ科	サンゴジュ	*							
バラ科	サンザシ	*							
ミカン科	サンショウ	*						キビタキ、メジロ、 ジョウビタキ、ウグ イス、オナガ	オナガアゲハ、クロ アゲハ、アゲハチヨ ウ、カラスアゲハ、 キアゲハ
ツツジ科	シャクナゲ	*							コツバメ
バラ科	シャリンバイ	*							トラフシジミ
ヤシ科	シュロ	*		*	*	*	*	カラス類、ヒヨドリ、 ツグミ類	
ブナ科	シラカシ	*	*					ヤマガラ	ムラサキシジミ
ジンチョウゲ科	ジンチョウゲ	*							
ヒノキ科	スギ	*				*			
ブナ科	スダジイ	*	*					ヤマガラ、(ヒヨド リ)	ムラサキシジミ、ト ラフシジミ、ルリシ ジミ
バラ科	スモモ	*							オオミスジ、メスア カミドリシジミ、ル リシジミ
ソテツ科	ソテツ	*							
モチノキ科	タラヨウ	*							
マツ科	ツガ	*							
モチノキ科	ツゲ	*							
ツツジ科	ツツジ	*						メジロ、ヒヨドリ、 キジバト、ハシブト ガラス、ハシボソガ ラス、(ジョウビタ キ、アオジ)	コツバメ
ツバキ科	ツバキ	*				*		メジロ、ヒヨドリ、 ウグイス	
モクセイ科	トウネズミモチ			*	*	*		ムクドリ、ヒヨドリ、 ツグミ類	
トチノキ科	トチノキ	*							スギタニルリシジ ミ、ルリシジミ
リュウゼツラン科	ドラセナ	*							
ミカン科	ナツミカン	*							アゲハチヨウ、クロ アゲハ、モンキアゲ ハ、ナガサキアゲハ、 キアゲハ
クロウメモドキ科	ナツメ	*							
メギ科	ナンテン	*						ツグミ、ヒヨドリ	トラフシジミ
ニシキギ科	ニシキギ	*		*	*			メジロ、ヒヨドリ、 ジョウビタキ	

東京家政大に生育している野草と樹木

マメ科	ヌルデ			*	*	*			
ウルシ科	ネズミモチ	*						ツグミ、ヒヨドリ、ムクドリ	キチョウ
モクセイ科	ネムノキ	*		*	*	*			
バラ科	ノイバラ	*		*		*		オナガ、ツグミ、ヒヨドリ、レンジャク	トラフシジミ、コツバメ、ルリシジミ
マメ科	ハギ	*							キチョウ、ルリシジミ、ツバメシジミ
アカネ科	ハクチョウゲ	*							
マメ科	ハナズオウ	*							
バラ科	バラ	*							
モチノキ科	ヒイラギ	*							
ヒノキ科	ヒノキ	*				*			
バラ科	ビワ	*							ルリシジミ
バラ科	ビワ (花)	*						メジロ、ヒヨドリ	
バラ科	ビワ (実)	*						ムクドリ、オナガ、カラス	
マツ科	ヒマラヤスギ	*			*		*	シジュウカラ	
バラ科	ヒメリンゴ	*							コツバメ
バラ科	ピラカンサ	*							コツバメ
フトモモ科	フェイジョア	*							
マメ科	フジ	*		*	*	*	*		コムスジ、ツバメシジミ、ルリシジミ、モンキチョウ、キチョウ、トラフシジミ、スギタニルリシジミ、ウラギンシジミ
アオイ科	フヨウ	*							
バラ科	ボケ	*							トラフシジミ
ヤナギ科	ポプラ	*							
ニシキギ科	マサキ	*						ジョウビタキ、シロハラ、アカハラ、ヒヨドリ、ムクドリ	
ブナ科	マテバシイ	*							ムラサキツバメ、ムラサキシジミ、トラフシジミ
ニシキギ科	マユミ	*							
ミカン科	ミカン	*							アゲハチョウ、クロアゲハ、カラスアゲハ
ミズキ科	ミズキ	*		*	*	*		ムクドリ、キビタキ、エゾビタキ、シメ	ルリシジミ
アオイ科	ムクゲ	*							コムスジ
ニレ科	ムクノキ			*	*	*	*	ムクドリ	コムスジ
クマツヅラ科	ムラサキシキブ	*		*	*	*		ツグミ、オナガ、ウソ	
スギ科	メタセコイア				*				
モクレン科	モクレン	*							
モチノキ科	モチノキ	*							
ツバキ科	モッコク	*						シジュウカラ、キビタキ、ジョウビタキ	

越尾淑子 亀井幸裕

カエデ科	モミジ	*							
バラ科	モモ	*							メスアカミドリシジミ、オオミスジ
ヤツデ科	ヤツデ	*		*	*	*		ツグミ、ヒヨドリ	
ヤナギ科	ヤナギ	*		*					コムラサキ
バラ科	ヤマザクラ	*	*					メジロ、ムクドリ、ツグミ類、ヒタキ類	アオスジアゲハ、メスアカミドリシジミ、オオミドリシジミ
バラ科	ヤマブキ	*		*	*	*			
バラ科	ユキヤナギ	*							コツバメ
リュウゼツラン科	ユッカ	*							
モクレン科	ユリノキ	*						シジュウカラ	
モクセイ科	ライラック	*							
バラ科	リンゴ	*							ルリシジミ
モクセイ科	レンギョウ	*							

<ul style="list-style-type: none"> * 太字は家政大内で観察された鳥 * 標準文字は観察の可能性のある鳥 * 括弧内は食餌ではなく営巣 	<ul style="list-style-type: none"> * 標準文字は都内に分布する蝶 * 太字は北区に分布する蝶
---	--

東京家政大に生育している野草と樹木

表2-1 家政大およびその周辺の野草と蝶

	和名	家政大学		北区南西部		赤羽地区	王子地区			食餌とする蝶
		板橋構内	中高ビオトープ	王子西	滝野川西	赤羽自然観察公園	中央公園	飛鳥山公園	陸上自衛隊十条駐屯地	
			03~04	06	06	05	05		06	
ウラボシ科	ノキシノブ	*			*					
オシダ科	イヌワラビ	*		*	*				*	
	ニシキシダ			*	*					
	ヘビノネゴザ			*	*					
	ホシダ			*	*				*	
	オニヤブソテツ	*		*	*					
	ヤブソテツ	*		*	*					
	ヤマヤブソテツ			*	*					
	ベニシダ	*		*	*					
	オオベニシダ				*					
	オクマワラビ	?		*	*					
	オオイタチシダ				*					
	ミゾシダ				*				*	
	ナライシダ				*					
	オオホソバシケシダ				*					
	シケシダ			*	*					
	タマシケシダ				*					
	セイタカシケシダ				*					
	ナチシケシダ				*					
	フモトシケシダ				*					
	クサソテツ	*		*	*					
	コウヤワラビ			*	*					
	ゲジゲジシダ	*		*	*					
	アスカイノデ			*	*					
	アイサスカイノデ				*					
	イノデ				*					
	ハリガネワラビ				*					
	アオハリガネワラビ				*					
	ミドリヒメワラビ			*	*					
チャセンシダ科	トラノオシダ			*	*					
	コバノヒノキシダ			*	*					
ゼンマイ科	ゼンマイ	*			*					
ワラビ科	イノモトソウ	*	*		*	*	*	*		
	ワラビ	*			*				*	
	ホウライシダ				*					
	イワガネソウ				*					
	イヌシダ	*			*					
アカザ科	シロザ	*	*							
アカネ科	アカネ	*				*	*	*		
イネ科	アキメヒシバ								*	
アカネ科	ヘクソカズラ	*	*			*	*	*	*	
アカネ科	ヤエムグラ	*				*	*	*	*	
アカバナ科	オオマツヨイグサ	*								
アカバナ科	コマツヨイグサ								*	
アカバナ科	マツヨイグサ								*	
アカバナ科	メマツヨイグサ	*	*			*				
アケビ科	アケビ	?							*	
アブラナ科	イヌガラシ	*	*			*	*	*	*	スジグロシロチョウ、モンシロチョウ、ツマキチョウ
アブラナ科	オオアラセイトウ	*	*							スジグロシロチョウ、モンシロチョウ、ツマキチョウ

アブラナ科	スカシタゴボウ					*			*	ツマキチョウ、スジグロシロ チョウ
アブラナ科	タネツケバナ	*	*						*	ツマキチョウ、スジグロシロ チョウ、モンシロチョウ
アブラナ科	ナズナ	*	*			*	*			ツマキチョウ、モンシロチョウ
アブラナ科	マメグンバイナズナ					*	*		*	スジグロシロチョウ
アヤメ科	ニワゼキショウ	*	*			*			*	
	オオニワゼキショウ								*	
イグサ科	イ								*	
イグサ科	クサイ	*				*	*		*	
イグサ科	スズメノヤリ	*								
イチヤクソウ科	ギンリョウソウ	*								
イラクサ科	アオカラムシ	*								
イワデンダ科	イヌワラビ	*								
イネ科	アオカモジグサ	*								
イネ科	アキノエノコログサ	*	*			*	*		*	クロコノマチョウ
イネ科	アズマネザサ								*	キマダラセセリ、オオチャバネ セセリ、ヒカゲチョウ、クロヒ カゲ、コチャバネセセリ
イネ科	アブラススキ	*								オオチャバネセセリ、クロコノ マチョウ、チャバネセセリ
イネ科	イヌヌギ					*	*		*	
イネ科	イヌビエ	*							*	キマダラセセリ、コジャノメ、 クロコノマチョウ、
イネ科	ウシノシッペイ								*	
イネ科	エノコログサ	*	*			*	*	*	*	イチモンジセセリ、キマダラセ セリ、ギンイチモンジセセリ、 クロコノマチョウ、チャバネセ セリ
イネ科	オオアワガエリ								*	ヒメウラナミジャノメ
イネ科	オオエノコロ								*	
イネ科	オオクサキビ								*	
イネ科	オギ					*	*	*	*	クロコノマチョウ
イネ科	オニウチノケグサ								*	
イネ科	オヒシバ	*	*			*	*	*	*	キマダラセセリ
イネ科	カゼクサ					*	*	*	*	
イネ科	カモジグサ								*	スジグロチャバネセセリ、ヒ メウラナミジャノメ、ジャノメ チョウ
イネ科	ギョウギシバ					*	*		*	
イネ科	キンエノコロ		*						*	
イネ科	クロコヌカグサ								*	
イネ科	クロチク	*								ヒカゲチョウ
イネ科	ケチヂミザサ					*	*	*	*	オオチャバネセセリ、ヒカゲ チョウ、クロヒカゲ*、コチャ バネセセリ
イネ科	クサヨシ								*	イチモンジセセリ、スジグロ チャバネセセリ、ジャノメチヨ ウ
イネ科	コスズメガヤ								*	
イネ科	コブナグサ								*	
イネ科	コムツブキンエノコロ								*	
イネ科	コメヒシバ	*							*	
イネ科	サヤヌカグサ								*	
イネ科	シバ								*	
イネ科	シバズメノヒエ								*	
イネ科	ジュズダマ	*				*	*		*	イチモンジセセリ、キマダラセ セリ、ギンイチモンジセセリ、 クロコノマチョウ、チャバネセ セリ、ヒメウラナミジャノメ

東京家政大に生育している野草と樹木

イネ科	ススキ	*	*				*	*	*	*	イチモンジセセリ、キマダラセセリ、オオチャバネセセリ、ギンイチモンジセセリ、クロコノマチョウ、クロヒカゲ*、コジャノメ、ジャノメチョウ、チャバネセセリ、ヒメウラナミジャノメ、ヒカゲチョウ、コチャバネセセリ
イネ科	スズメガヤ									*	
イネ科	スズメノカタビラ	*	*							*	ヒメウラナミジャノメ、ジャノメチョウ
イネ科	スズメノテッポウ		*							*	
イネ科	スズメノヒエ	*	*							*	
イネ科	チガヤ	*					*	*	*	*	キマダラセセリ、オオチャバネセセリ、チャバネセセリ、ジャノメチョウ、クロコノマチョウ、
イネ科	チカラシバ	*								*	キマダラセセリ、ヒメウラナミジャノメ
イネ科	チヂミザサ	*									キマダラセセリ、サトキマダラヒカゲ*、ヒメウラナミジャノメ、コジャノメ、クロコノマチョウ
イネ科	トダシバ	*									クロヒカゲ
イネ科	ナガハグサ	*									
イネ科	ナルコビエ	*									クロコノマチョウ
イネ科	ニワホコリ									*	
イネ科	ヌカキビ		*							*	
イネ科	ネズミガヤ									*	ヒメウラナミジャノメ
イネ科	ネズミノオ									*	
イネ科	ネズミムギ									*	
イネ科	ネズミホソムギ									*	
イネ科	ノガリヤス	*									キマダラセセリ、ジャノメチョウ、クロコノマチョウ
イネ科	ヒキガエリ		*								
イネ科	ミゾイチゴツナギ									*	
イネ科	ムラサキエノコロ	*								*	
イネ科	メガルカヤ	*									
イネ科	メヒシバ	*	*				*	*	*	*	キマダラセセリ、クロコノマチョウ
イネ科	ヨシ						*			*	チャバネセセリ
イラクサ科	アオミズ									*	
イラクサ科	メヤブマオ	*									アカタテハ
イラクサ科	ヤブマオ	*									アカタテハ
ウリ科	カラスウリ						*	*	*	*	
ウリ科	キカラスウリ	*									
ウリ科	スズメウリ										
オオバコ科	オオバコ	*	*				*	*	*	*	ヒメアカタテハ、ヒメシジミ
オオバコ科	ヘラオオバコ		*				*	*		*	
オシロイバナ科	オシロイバナ									*	
ガガイモ科	ガガイモ						*	*		*	
カタバミ科	アカカタバミ	*									
カタバミ科	カタバミ	*	*				*	*	*	*	ヤマトシジミ
カタバミ科	ムラサキカタバミ	*	*							*	ヤマトシジミ
カニクサ科	カニクサ		*		*						
ガマ科	ヒメガマ		*				*				キマダラセセリ
カヤツリグサ科	アゼガヤツリ									*	
カヤツリグサ科	アオスゲ						*	*			
カヤツリグサ科	カヤツリグサ	*	*				*			*	チャバネセセリ
カヤツリグサ科	カワラスガナ									*	
カヤツリグサ科	コゴメガヤツリ									*	
カヤツリグサ科	コツブヌマハリイ									*	
カヤツリグサ科	タマガヤツリ									*	
カヤツリグサ科	チャガヤツリ									*	

カヤツリグサ科	テンツキ							*	
カヤツリグサ科	ナキリスゲ	*	*			*	*	*	
カヤツリグサ科	ヒゴグサ		*						
カヤツリグサ科	ヒメグサ							*	
カヤツリグサ科	マスクサ					*	*		
カヤツリグサ科	ミコシガヤ		*					*	
キキョウ科	ウラジロチチコグサ		*			*	*	*	
キキョウ科	ツリガネニンジン	-*						*	ヒメシジミ
キキョウ科	ホタルブクロ	*	*						
キキョウ科	ヤマホタルブクロ	*							
キク科	アカタンポポ	*							
キク科	アキノキリンソウ	*							
キク科	アメリカセンダングサ					*	*	*	*
キク科	アレチノギク								
キク科	イヌクイモ							*	
キク科	イワニガナ	*							
キク科	オオアレチノギク	*	*			*	*	*	*
キク科	オオアワダチソウ	*	*						
キク科	オオジシバリ							*	
キク科	オオブタクサ							*	
キク科	オトコヨモギ							*	ヒメシジミ
キク科	オニタビラコ	*	*			*	*	*	*
キク科	オニノゲシ	*	*					*	
キク科	カントウタンポポ	*	*						
キク科	カントウヨメナ							*	
キク科	キツネアザミ	*							ヒメアカタテハ、ヒメシジミ
キク科	コウゾリナ							*	
キク科	コオニタビラコ	*							
キク科	コゴメギク	*							
キク科	コセンダングサ	*				*	*	*	
キク科	ゴボウ	*							ヒメアカタテハ、ヒメシジミ
キク科	シロバナタンポポ	*							
キク科	シロヨメナ	*							
キク科	セイタカアワダチソウ	*	*			*	*	*	*
キク科	セイヨウタンポポ	*	*			*	*	*	*
キク科	タイアザミ	*							ヒメアカタテハ、ヒメシジミ
キク科	タカサブロウ							*	
キク科	ダンゴボロギク	*							
キク科	チチコグサ		*					*	ヒメアカタテハ
キク科	チチコグサモドキ	*	*				*	*	*
キク科	ツワブキ	*				*	*	*	
キク科	トキンソウ	*	*						
キク科	ニガナ	*						*	
キク科	ノゲシ					*	*	*	
キク科	ノボロギク	*						*	
キク科	ハキダメギク	*	*			*	*	*	*
キク科	ハハコグザ	*	*			*	*		ヒメアカタテハ、ヒメシジミ
キク科	ハルジオン	*	*			*	*	*	*
キク科	ハルノノゲシ	*	*						
キク科	ヒメジョオン	*	*			*	*	*	ヒメシジミ
キク科	ヒメムカシヨモギ	*	*			*	*	*	*
キク科	フキ	*						*	ヒメシジミ
キク科	ブタクサ	*				*		*	ヒメアカタテハ
キク科	ヤクシソウ	*						*	
キク科	ヨメナ	*							
キク科	ヨモギ	*	*			*	*	*	*
キツネノマゴ科	キツネノマゴ	*	*			*	*	*	*
キンボウゲ科	センニンソウ	-*-						*	

東京家政大に生育している野草と樹木

キンボウゲ科	タガラシ							*	
キンボウゲ科	アキカラマツ							*	
クマツヅラ科	クサギ				*		*	*	
クワ科 (アサ科)	カナムグラ	*			*	*		*	キタテハ、ツバメシジミ、アカタテハ
クワ科	クワクサ	*							
クワ科	マグワ							*	
クワ科	ヤマグワ	*						*	
ケシ科	タケニグサ	*	*					*	
ケシ科	ムラサキケマン		*						ウスバシロチョウ
ゴマノハグサ科	ウリクサ	*							
ゴマノハグサ科	オオイヌノフグリ	*	*		*	*		*	
ゴマノハグサ科	タチイヌノフグリ	*	*					*	
ゴマノハグサ科	トキワハゼ	*	*		*	*	*	*	
サクラソウ科	アカバナルリハコベ	*							
サクラソウ科	オカトラノオ	*							
サクラソウ科	コナスビ	*	*						
サクラソウ科	シバザクラ	*							ルリシジミ
サトイモ科	カラスビシャク	*			*	*	*	*	
シソ科	ヒメオドリッコソウ	*						*	
シソ科	ホトケノザ	*	(*) 07		*	*			
スイカズラ科	スイカズラ	*						*	イチモンジチョウ、コツバメ
ミョウガ科	ミョウガ	*							
スベリヒユ科	スベリヒユ	*	*						
スマレ科	シロスマレ	*							ツマグロヒョウモン、ウラギン スジヒョウモン、オオウラギン スジヒョウモン、クモガタヒョ ウモン、ミドリヒョウモン
スマレ科	スマレ	*							ツマグロヒョウモン、ウラギン スジヒョウモン、オオウラギン スジヒョウモン、クモガタヒョ ウモン、ミドリヒョウモン
スマレ科	タチツボスマレ	*	*					*	ツマグロヒョウモン、ウラギン スジヒョウモン、オオウラギン スジヒョウモン、クモガタヒョ ウモン、ミドリヒョウモン、ヒ メシジミ
ゼンマイ科	ゼンマイ	*	*						
セリ科	オオチドメ	*							
セリ科	チドメグサ	*	*					*	
セリ科	ノチドメ				*	*	*		
セリ科	セリ		(*)		*			*	キアゲハ
タデ科	アレチギシギシ		*		*	*			
タデ科	イタドリ	*						*	ルリシジミ、ヒメシジミ
タデ科	イヌタデ	*	*		*	*	*	*	
タデ科	オオイヌタデ							*	
タデ科	ギシギシの一種	*							ベニシジミ
タデ科	エゾノギシギシ				*			*	ベニシジミ、ルリシジミ
タデ科	ギシギシ				*			*	ルリシジミ
タデ科	サデクサ							*	
タデ科	サナエタデ		*						
タデ科	スイバ	*						*	ベニシジミ、ルリシジミ
タデ科	ミズヒキ (赤)		*		*	*	*		
タデ科	ギンミズヒキ (白)		*						
タデ科	ミチヤナギ							*	
タデ科	ボントクタデ							*	
ツヅラフジ科	アオツヅラフジ	*						*	
ツユクサ科	ツユクサ	*	*		*	*	*	*	
トウダイグサ科	エノキグサ	*						*	
トウダイグサ科	オオニシキソウ							*	

越尾淑子 亀井幸裕

トウダイグサ科	コニシキソウ	*	*					*	*	
トウダイグサ科	タカトウダイ	*							*	
トウダイグサ科	ニシキソウ	*								
トウダイグサ科	ヒメミカンソウ	*								
トクサ科	スギナ	*		*	*	*	*	*	*	
トクダミ科	トクダミ	*	*			*	*	*	*	
ナス科	イヌホオズキ									*
ナス科	テリミノイヌホオズキ	*	*							
ナス科	クコ					*		*	*	
ナス科	ヒヨドリジョウゴ					*	*	*		
ナス科	ヤマホロシ	*								
ナス科	ワルナスビ		*							
ナデシコ科	オランダミミナグサ	*	*			*	*	*		
ナデシコ科	ツメクサ	*	*							
ナデシコ科	ノミノフスマ	*								
ナデシコ科	ハコベ	*	*							
ナデシコ科	ウシハコベ									*
ナデシコ科	ムシトリナデシコ		*							
バラ科	オヘビイチゴ									*
バラ科	ナワシロイチゴ	*				*		*	*	ヒメシジミ
バラ科	ノイバラ									*
バラ科	テリハライバラ									*
バラ科	ヘビイチゴ		*			*	*	*		
バラ科	ワレモコウ	*	*						*	ゴマシジミ、ヒメシジミ
ヒガンバナ科	ヒガンバナ	*				*			*	
ヒガンバナ科	タマスダレ									*
ヒユ科	ヒナタイノコヅチ	*	*			*	*	*	*	
ヒルガオ科	コヒルガオ	*	*			*	*	*	*	
ヒルガオ科	ヒルガオ	*	*			*			*	
ヒルガオ科	ヒロハヒルガオ	*								
ヒルガオ科	マルバワレモコウ	*								
フウロソウ科	ゲンノショウコ									*
ブドウ科	エビヅル	*							*	ルリシジミ
ブドウ科	キクバエビヅル								*	
ブドウ科	ツタ								*	
ブドウ科	ノブドウ	*	*			*	*			
ブドウ科	ヤブガラシ	*	*			*	*	*	*	アオスジアゲハ
ベンケイソウ科	コモチマンネングサ								*	
マメ科	アカツメクサ		*							
マメ科	カラスノエンドウ		*						*	モンキチョウ、ツバメシジミ、ルリシジミ、トラフシジミ、ツバメシジミ
マメ科	クズ	*	*			*	*	*	*	コムスジ、ウラギンシジミ、ツバメシジミ、ルリシジミ
マメ科	コメツブクサ	*								
マメ科	シロツメクサ	*	*			*	*	*	*	モンキチョウ、キチョウ、ウラギンシジミ、シルビアシジミ、ルリシジミ、ツバメシジミ、ヒメシジミ、
マメ科	ツルフジバカマ								*	モンキチョウ
マメ科	ナンテンハギ								*	
マメ科	ムラサキウマゴヤシ								*	モンキチョウ、シルビアシジミ
マメ科	ムラサキツメクサ								*	
マメ科	メドハギ								*	キチョウ、コムスジ、ツバメシジミ、ルリシジミ、シルビアシジミ、
マメ科	ヤハズエンドウ	*				*	*		*	シルビアシジミ
マメ科	ヤブマメ					*	*	*		コムスジ、ツバメシジミ
マメ科		*								

東京家政大に生育している野草と樹木

マメ科	ハギ	*							キチョウ、コムスジ、ツバメシジミ、ルリシジミ
ムラサキ科	キュウリグサ	*	*						
ムラサキ科	ハナイバナ		*						
ヤシ科	シュロ	*			*	*	*	*	
ヤマゴボウ科	ヨウシュヤマゴボウ	*	*		*	*	*		
ヤマノイモ科	オニドコロ	*				*	*	*	ダイミョウセセリ
ヤマノイモ科	ヤマノイモ	*	*		*	*	*	*	ダイミョウセセリ
ヤブコウジ科	マンリョウ	*						*	
ユキノシタ科	ユキノシタ	*	*					*	
ユリ科	ジャノヒゲ	*	*					*	
ユリ科	タイワンホトトギス		*						ルリタテハ
ユリ科	ツルボ	*						*	
ユリ科	ニラ							*	
ユリ科	ノビル	*	*						
ユリ科	ヒメヤブラン							*	
ユリ科	ホトトギス		*						ルリタテハ
ユリ科	ヤブカンゾウ	— *—			*				
ユリ科	ヤブラン	*			*	*	*		
ユリ科	ヤマユリ		*						ルリタテハ
ラン科	キンラン	*							
ラン科	ネジバナ	*						*	
ラン科	マヤラン	*							

表2-2 家政大で観察された野鳥

上空通過	ツバメ
旅鳥（渡りの途中に立ち寄る）	ハイタカ、ツツドリ
ナーズリー庭や常緑樹、落葉樹にたちよる	ウグイス
平地から山地までを好む	モズ
平地から山地までの耕地や明るい低木林に棲む	ジョウビタキ、アオジ
常緑樹林、雑草の多いテニスコート、ピオトープに棲む	ツグミ
丘陵地や山地の落葉広葉樹林を好み、渡り途中では市街地にも立ち寄る	キビタキ、センダイムシクイ
平地から山地の常緑広葉樹林に棲み、スダジイやエゴノキの果実を好む	ヤマガラ
落葉広葉樹林を好み、カエデ、エノキなどの実を食べる	シメ
山地の針広混交林を好み渡り途中では市街地にも立ち寄る	エゾムシクイ
（メインロード、正門、120周年記念館、生活科学研究所前樹林通路）	ハクセキレイ、セグロセキレイ
（建物の隙間や、屋上の給水塔、ファン装置に良い隙間があれば繁殖も可）	
樹上で営巣1（キンモクセイやスダジイの枝に作る。建物に営巣した事もある。ビニール紐を巣材に用いることが多い。）2（マツやスギの枝に作るが多い。）3（高いクスノキ、スダジイ、シラカシなどの木の上に枯れ枝などで作る。）	キジバト、ヒヨドリ（1）、メジロ、カワラヒワ（2）、オナガ、ハシブトガラス（3）
（巣材は使わずに、枯れ枝、枯れ木に自分で穴を掘る）	コゲラ
建造物で営巣1（スギゴケを敷き詰め獣毛を産座に用いる）2（枯れ枝や羽毛などを巣材とする）	ツバメ、ヒヨドリ、シジュウカラ（1）スズメ・ムクドリ（2）、ハシブトガラス
樹洞1（イチョウ、カエデ、サルスベリ）（サクラやクリの木にキツキ類の開けた巣穴を利用する。似た構造であれば巣箱や建造物の一部でもかまわない）2（暖房機の排気管に営巣した事もある）3（枯れ枝や羽毛などを巣材とする）	シジュウカラ（1）、スズメ（2）、ムクドリ（3）
巣箱	シジュウカラ、スズメ
中高グラウンドのフェンス沿いや85周年記念館裏、など学園の端に藪を作って落ち葉を残すと越冬の可能性はある	シロハラ、アカハラ さらにアオジ、ジョウビタキ、ウグイスも集まる可能性がある。